

NEWSLETTER

新年度が始まり1ヶ月が過ぎました。皆様、日々、教育実践の充実に向けて邁進されておられることと存じます。

今年度も、少しでも各学校の実践に役立つ情報を提供してまいりますので、研究課・情報資料室のニューズレターをよろしくお願いたします。

さて今回は、年度当初のご挨拶と今年度の研究内容についてお知らせいたします。
(研究課編集部)

年度の初めに当たって
永松記念教育センター
研究課長 市田 佳之

時あたかも国を挙げての教育論議が展開されています。ただ、多分に今の学校教育の全てを変えなくてはならないような受け止め方がされているのではないのでしょうか。

今日の我が国の繁栄を支えてきた最大の原動力は、幾多の困難を克服し確かな歩みを記してきた学校教育であり、今後もそうあり続けると言っても過言ではないと思います。しかし、同時に従来の教育の画一性の打破が求められ、また学校教育への過度の依存による家庭、地域社会の教育力の低下なども指摘されています。

すなわち
今次教育改



革で求められているのは、今まで培われてきた教育の成果を正しく評価する一方で、今一度、教育の原点とは何かをしっかりと見極め、そのことを実践に移すことだと思います。教育改革のキーワードの一つである「基礎・基本の定着」が改めて重視される所以もその点を背景としているものに他ならないと理解できます。

日々、教育活動に邁進されている先生方におかれても、幾多の困難な課題に行く手を阻まれることもあろうかと思えます。

しかし、榎本頼兼市長が21世紀最初の年頭訓示で、欧米諸国との歴然たる格差を目の当たりにした明治の先人たちの気概を「立ち向かう楽観主義」と評されたように、新たな教育の創造に向け、今こそ私たち教育関係者が一丸となり、自らの可能性を信じ、着実な取組を進めていくことが必要です。

研究課においても、教育改革の理念の実現に向け、今年度も関係各課との連携の下に、新教育課程の完全実施や喫緊の教育課題に対応するための厳選された研究テーマを設定し、先生方の日々の教育実践に資する成果をあげるため全力を傾注する決意です。

各学校のご協力もいただきながら実りある研究を進めていきたいと考えていますので、よろしくお願いたします。

今年度の研究について

今年度、研究課では10件の課題研究と5件のプロジェクト研究に取り組みます。

テーマの選択にあたっては、昨年度11月に教育委員会関係各課より出された30件にのぼる研究課題の中から、「指導の重点」に示された今日的課題に合致し、各学校の明日の実践に役立つものという観点からセンター内で絞り込み決定しました。

まず、「課題研究」としては、学習評価、基礎・基本、総合的な学習の時間、教育実態調査、心の教育・人権教育の5分野で取り組みます。

学習評価については、学校指導課と連携し、新教育課程の中で求められている「目標に準拠した評価」「個人内評価」の在り方について研究を進めます。小・中学校それぞれの教科の具体的な単元を取り上げ、各時間ごとの評価の基準・場面・方法について提示します。

基礎・基本に関しては、小学校では国語科、中学校では英語科を取り上げ、それぞれ1年生の入門期における指導の在り方を提示します。それぞれの教科担当の指導主事と連携し、子どもたちにとっての初めての国語、初めての英語をどのように進めていくのかを明らかにします。



総合的な学習の時間の研究では、小学校3年生から6年生までのカリキュラムを作成していく上での観点を明らかにすることと、情報分野における4学年分の具体的な指導計画を提示します。各学校で進めておられる学習の参考となるものを示したいと思います。

教育実態調査では、小学校1年生の生活と意識の実態を明らかにします。地域教育専門主事室と連携し、1年生の子どもたちが、どのような生活をどのような思いで過ごしているのか、客観的に明らかにすることで、各学校に活用していただける資料を提供します。

心の教育・人権教育では、3つの研究に取り組めます。中学校保



健体育科における「心の健康」をテーマとした研究では、体育健康教育室と連携し、日常生活の中で実践できる力を育てる保健学習の在り方を提示します。中学校道徳における「心の教育」の研究では、指導室の担当指導主事と連携し、体験活動と結びついた道徳の時間の展開について、研究を進めます。さらに、人権教育の研究では、新教育課程における小学校6年間の人権学習の指導計画の提示とその実践例を人権教育企画課と連携して提示します。

さらに、「プロジェクト研究」として、学校指導課と共に取り組む「小学校英語カリキュラムの作成」、保健福祉局保育課と共に取り組む「就学前の保護者の子育てに関する調査」、永松記念教育センターの独自課題としての「カリ

キュラムセンター機能の開発」

「教育調査のための京都市地域類型の検討」、さらに、指定都市教育研究所連盟の共同研究としての「政令指定都市の子どもたちの意識調査」に、それぞれ担当者を配置して進めていきます。

いずれの研究も、新教育課程の実施を目前に控えて、先行的に取り組むべき重要な課題としてとらえ、今年度末には具体的な研究成果を提示できるように、研究に取り組めます。これらの研究を進めていく上では、様々な学校に研究協力や調査協力をお願いすることになりますが、その節にはよろしくお祈いします。また、それぞれの研究がよりよいものとなりますように、皆様のご意見をお寄せください。



情報資料室

情報資料室では、皆様に、教育書籍・冊子・ビデオなどをより一層有効にご活用していただくため、内容の充実に努めています。今年度も教育書籍を大幅に入れ替え、今日的教育課題に対応した新刊書籍を多数購入しました。現在は、既存の図書も含めてデータベース化の作業を進めています。

また、各校から寄せられる昨年度の「研究のまとめ」等も多数そろいました。最新の研究成果・学習指導案などが集録されています。さらに現在2300件余の学習指導案がファイリングされ、閲覧・コピーが出来ます。「ビデオライブラリー」では、平成12年度「私の十八番授業」受賞者の授業ビデオ（小学校21点、中学校8点、養護学校・育成学級1点 計21点）を編集・保管し、京都市立学校の教職員を対象に貸し出しをしています。積極的にご活用ください。

貸し出し方法

- * 教育関係図書類：書棚に並んでいます。裏表紙につけてあるカードに氏名等を記入し、貸し出しカードに入れてください。貸し出しは2冊以内で、期限は2週間です。文書集配メールによる返却も可能です。
- * ビデオテープ：電話の申し込みも可能です。貸し出しは2本以内で10日間が原則です。発送、返却には文書集配メールが利用できます。今年度の目録は近日中に各学校にお配りいたします。
- * 各学校の研究冊子：移動書架に、学校ごとに整理しています。また、研究教科がわかるようにシールで分類してあります。閲覧・コピーが可能です。



(電話：371 - 2340 内線 318)